

# コロナ禍での 環境とエネルギー政策

2020年

11月20日 金 14:00-16:00

主催：大阪大学（オンライン授業）

コロナ禍で経済が停滞し、電気の使用量が減ったといわれています。しかし、世界をみると、電気料金が上がっている国もあります。それは、各国の電源構成によります。各国は、再エネ、原子力、火力などをどのように組み合わせ、電力をまかなっているのでしょうか。

日本では、菅義偉首相が、所信表明演説で「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」と宣言しています。アメリカの大統領選では、バイデン氏が勝利し、今後の環境・エネルギー政策や、日本への影響が懸念されています。

世界の環境政策や、エネルギー政策に詳しい常葉大学経営学部教授の山本隆三さんとともに考えていきます。

講師：山本 隆三氏



NPO法人国際環境経済研究所所長／常葉大学経営学部教授

気候変動を中心とする環境政策とエネルギー政策の研究者。

1951年香川県生まれ。京都大学工学部卒業後、住友商事に入社。石炭部副部長、地球環境部長などを経て、2013年より現職。常葉大学経営学部教授も務めている。また、財務省財務総合政策研究所「環境問題と経済・財政の対応に関する研究会」委員などを歴任。現在、経済産業省「国際貢献定量化及びJcm実現可能性調査選定委員会」委員などを務めている。

主な著書に『経済学は温暖化を解決できるか』『脱原発は可能か』『電力不足が招く成長の限界』など多数

お申し込み

<https://forms.gle/NJrGYyxxg8moGCZtNA>



〈お問合せ先〉

東京都港区芝浦2-3-31 TEL:03-6891-1572 E-mail:seminar@jaero.or.jp  
(一財)日本原子力文化財団 セミナー係 受付時間10:00-17:00(土日祝を除く)